

### 取扱説明書



|                                            |          |
|--------------------------------------------|----------|
| <b>準備する</b> .....                          | <b>2</b> |
| 機器を接続する .....                              | 2        |
| 電源を入れる .....                               | 3        |
| 一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする<br>(AUTO OFF) ..... | 3        |
| 接続したアンプの種類を設定する .....                      | 4        |
| 音量を調節する .....                              | 4        |
| チューナーを使う .....                             | 4        |
| チューナーの各種設定 .....                           | 4        |
| <b>演奏する</b> .....                          | <b>5</b> |
| パッチを選ぶ .....                               | 5        |
| プレイ画面について .....                            | 5        |
| コントロール・モードを選ぶ .....                        | 6        |
| ベース・ギターで GT-1000 を使う .....                 | 6        |
| <b>エディット編：エフェクト</b> .....                  | <b>7</b> |
| エフェクト・エディットの基本操作 .....                     | 7        |
| エフェクトの配置 .....                             | 7        |
| STOMPBOX を使う .....                         | 8        |
| STOMPBOX を編集する .....                       | 8        |
| STOMPBOX の設定をパッチに読み出す .....                | 8        |
| パッチの設定を STOMPBOX に書き込む .....               | 8        |
| パッチの保存 .....                               | 9        |
| <b>エディット編：MENU</b> .....                   | <b>9</b> |
| MENU の基本操作 .....                           | 9        |
| [1] ～ [6] つまみに好みのパラメーターを割り当てる .....        | 9        |
| ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する .....              | 10       |
| 工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット） .....             | 10       |

|                                               |           |
|-----------------------------------------------|-----------|
| メトロノームを使う .....                               | 10        |
| <b>パソコンに接続する</b> .....                        | <b>11</b> |
| USB ドライバーのインストール .....                        | 11        |
| オーディオ・インターフェースとして使う .....                     | 11        |
| <b>外部 MIDI 機器を接続する</b> .....                  | <b>11</b> |
| GT-1000 からの操作 .....                           | 11        |
| 外部 MIDI 機器からの操作 .....                         | 11        |
| <b>Bluetooth®（ブルートゥース）機能を使う</b> .....         | <b>12</b> |
| こんなことができます .....                              | 12        |
| アプリと接続する .....                                | 12        |
| <b>フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの設定</b> ..            | <b>13</b> |
| 機能を設定する .....                                 | 13        |
| エフェクト・エディット画面からアサインを設定する<br>（クイック・アサイン） ..... | 13        |
| エクスプレッション・ペダルを調節する<br>（ペダル・キャリブレーション） .....   | 14        |
| 外部ペダルの接続について .....                            | 15        |
| <b>ルーパー</b> .....                             | <b>16</b> |
| ルーパー機能をスイッチにアサインする .....                      | 16        |
| ループ再生レベルの設定 .....                             | 16        |
| スイッチの色 .....                                  | 16        |
| <b>主な仕様</b> .....                             | <b>17</b> |
| <b>安全上のご注意</b> .....                          | <b>17</b> |
| <b>使用上のご注意</b> .....                          | <b>18</b> |

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.17、18））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。



© 2018 Roland Corporation

### 📖 取扱説明書（本書）

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。

### 📖 PDF マニュアル（Web からダウンロード）

- **パラメーター・ガイド**  
本機のすべてのパラメーターについて解説しています。
- **サウンド・リスト**  
本機に収録されている音色のリストです。
- **MIDI インプリメンテーション**  
MIDIメッセージの詳細資料です。

### 📖 PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://jp.boss.info/manuals/>



2. 製品名「GT-1000」を選んでください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

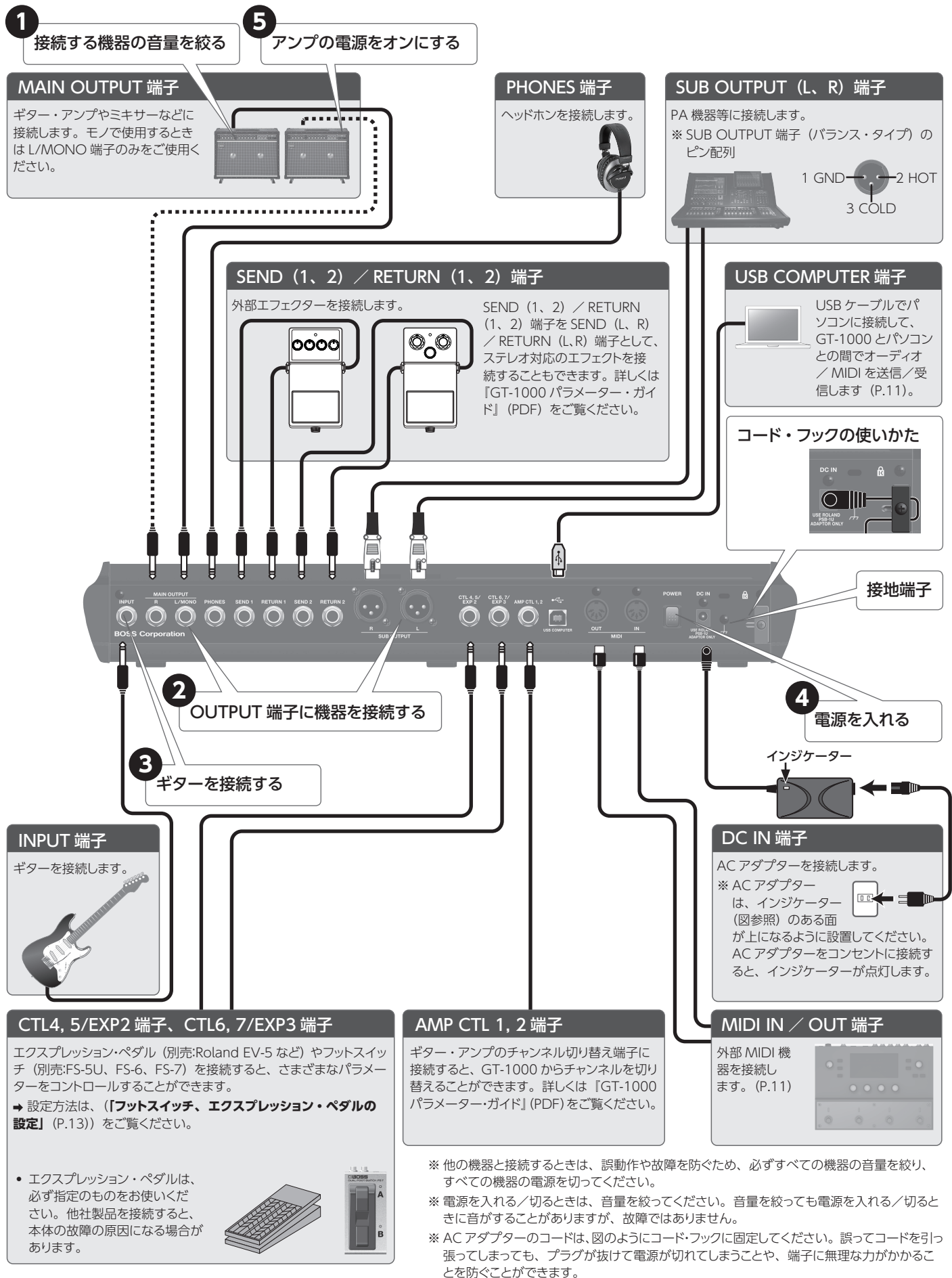
Español

Português

Nederlands

# 準備する

## 機器を接続する



本書では、MENU 操作の手順を以下のように表記します。

<例>

[MENU] ボタンを押します。

[2] つまみを押して「IN/OUT SETTING」を選びます。

[1] つまみを押して「INPUT」を選びます。



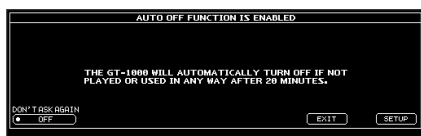
[MENU] → [IN/OUT SETTING] → [INPUT] を選びます。

## 電源を入れる

①～⑤の手順に従って電源を入れます。  
切るときは、逆の手順で電源を切ります。

### メモ

電源を入れると、以下の画面が表示されます。



AUTO OFF 機能を [OFF] にしていると、この画面は表示されません。

AUTO OFF 機能の設定をする場合は、[6] つまみで [SETUP] を選びます。詳しくは「一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (AUTO OFF) (P.3)」をご覧ください。

## 一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (AUTO OFF)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間（初期値：20 分）が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

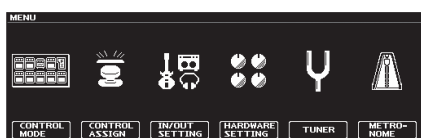
### 注意

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

## 1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [AUTO OFF] を選びます。



メニュー画面が表示されます。



[AUTO OFF] は HARDWARE SETTING 画面の 2 ページ目にあります。PAGE [◀] [▶] ボタンで 2 ページ目を表示させます。



## 2. [1] ～ [5] つまみで、AUTO OFF 機能を設定します。



| 設定値         | 説明                                                |
|-------------|---------------------------------------------------|
| 20MIN (初期値) |                                                   |
| 1HOUR       | 一定時間（20 分、1 時間、5 時間、10 時間）演奏や操作をしないと、自動的に電源が切れます。 |
| 5HOURS      |                                                   |
| 10HOURS     |                                                   |
| OFF         | 電源は自動的に切れません。                                     |

[20MIN] 以外を選ぶと、確認画面が表示されます。



## 3. [6] つまみを押して、[OK] を選びます。

### メモ

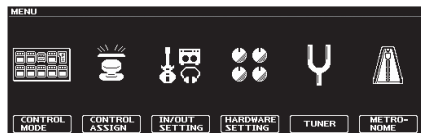
AUTO OFF 機能を [20MIN] [1HOUR] [5HOURS] [10HOURS] のいずれかに設定していると、電源が切れる 5 分前から、電源が切れるまでの時間が分単位で表示されます。残り1分を切ると、カウントダウンが始まります。操作や演奏をすると元の画面に戻ります。

## 接続したアンプの種類を設定する

1. [MENU] → [IN/OUT SETTING] → [MAIN OUT] → [OUTPUT SELECT] を選びます。



メニュー画面が表示されます。



2. [1] つまみを回して、アンプの種類を選びます。



アンプの種類について、詳しくは『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

### メモ

GT-1000 の特長を最大限に活かすためには、ギター・アンプのプリアンプの影響を受けるギター入力端子より、RETURN 端子など、プリアンプに影響されない入力に接続することをおすすめします。

## 音量を調節する

[OUTPUT LEVEL] つまみで、全体の音量を調節します。



## チューナーを使う

1. [CTL3] (TUNER) スイッチを押します。



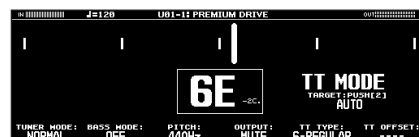
チューナー画面が表示されます。

PAGE [◀] [▶] ボタンで、チューナーの表示を切り替えることができます。

モノフォニック表示



トゥルー・テンペラメント表示



※ このモードはトゥルー・テンペラメントに対応したギター用のチューニングモードです。

以下の手順でもチューナーを起動することができます。

1. [MENU] → [TUNER] を選びます。

[TUNER] はメニューの 1 ページ目にあります。PAGE [◀] [▶] ボタンで 1 ページ目を表示させます。

## チューナーの各種設定

ディスプレイ下の [1] ~ [6] つまみでチューナーの設定をします。

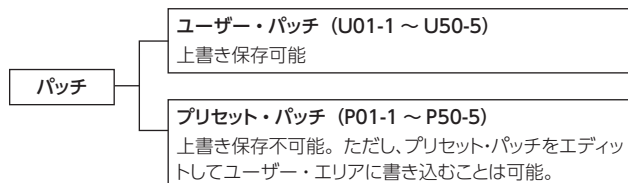
### チューナーの設定

| パラメーター         | 設定値                                                           | 説明                                                        |
|----------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| [1] TUNER MODE | NORMAL、STREAM                                                 | チューナーのメーターの表示方法を設定します。                                    |
| [2] BASS MODE  | OFF、ON                                                        | 詳しくは、『ベース・ギターで GT-1000 を使う』(P.6) をご覧ください。                 |
| [3] PITCH      | 435 ~ 445 Hz<br>(初期値: 440 Hz)                                 | 基準ピッチを設定します。                                              |
| [4] OUTPUT     | MUTE                                                          | チューニング中に音を出力しません。                                         |
|                | BYPASS                                                        | チューニング中に GT-1000 に入力されたギターの音をそのまま出力します。すべてのエフェクトがオフの状態です。 |
|                | THRU                                                          | 現在のエフェクト音のままチューニングできます。                                   |
| [5] TT TYPE    | 6-REGULAR、6-DROP D、7-REGULAR、7-DROP A、4-B REGULAR、5-B REGULAR | チューナーのチューニングの種類を選びます。                                     |
| [6] TT OFFSET  | -5 ~ -1、---                                                   | チューナーの基準音をスタンダード・チューニングから半音単位で変更します。                      |

# 演奏する

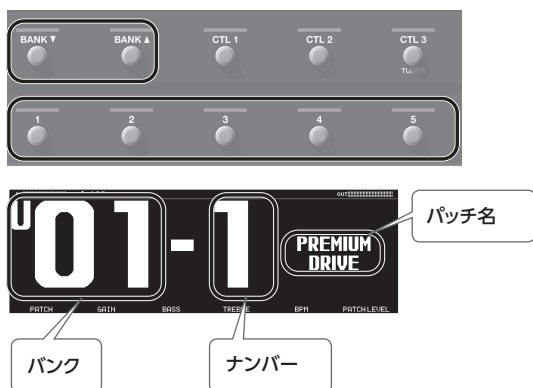
## パッチを選ぶ

エフェクトの組み合わせと設定をひとまとめにしたものを「パッチ」と呼びます。



1. **[BANK▼]、[BANK▲]** スイッチで、バンクを選びます。
2. **[1] ～ [5]** スイッチで、選んだバンク内のパッチを選びます。

- 2. [1] ～ [5] スイッチで、選んだバンク内のパッチを選びます。**

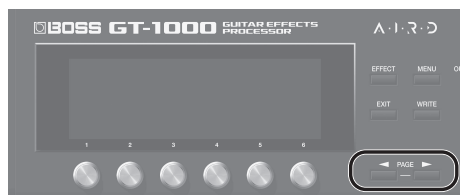


✕E

ディスプレイ下の **【1】** つまみを回してもパッチを切り替えることができます。

## プレイ画面について

電源投入時に表示される画面を「**プレイ画面**」と呼びます。  
プレイ画面には次の 4 種類があり、PAGE [◀] [▶] ボタンで表示を切り替えることができます。



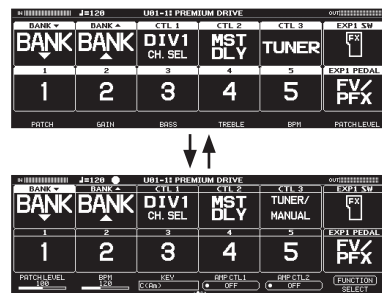
パッチ番号を大きく表示



パッチ名を大きく表示



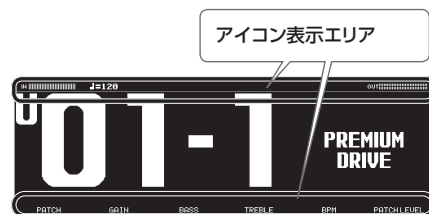
本体や外部のスイッチ等にアサインされている機能を表示



エフェクトの配列を表示



## プレイ画面のアイコン表示



| 表示                                                                                                                                                                           | 説明                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|                                                                                          | 入力レベルを表示します。                                |
|                                                                                          | 出力レベルを表示します。                                |
| <br> | RETURN レベルを表示します。                           |
| <br> | SEND レベルを表示します。                             |
|                                                                                          | コンプレッサー動作時の圧縮レベル量を表示します。                    |
|                                                                                           | エディターが無線で接続されているときに表示されます。                  |
|                                                                                           | BPM を表示します。                                 |
|                                                                                           | BPM に合わせて点滅します。                             |
|                                                                                           | PAGE 【◀】 【▶】 ボタンでどのページに移動したか表示します（エディット画面）。 |

プレイ画面が表示されているときに、**[1]** ～ **[6]** つまみを回すと、つまみの上に表示されているパラメーターの設定値を調節することができます。



✕モ

プレイ画面が表示されているときに、**【1】～【6】** つまみで、調節できるパラメーターを変更することができます。詳しくは「**【1】～【6】 つまみに好みのパラメーターを割り当てる**」(P.9)をご覧ください。

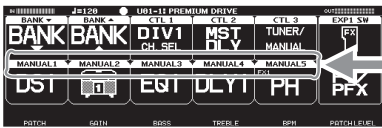
## コントロール・モードを選ぶ

コントロール・モードの設定で、使いかたに合わせたにエフェクトの操作方法を選ぶことができます。

### 1. [MENU] → [CONTROL MODE] を選びます。



### 2. [1] つまみを回して、コントロール・モードを選びます。

| パラメーター                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| MEMORY<br>(メモリー・モード)       | <p>本体に保存したパッチを呼び出して使うことができるモードです。</p> <p>ナンバー・スイッチ [1] ~ [5] を使って、パッチを切り替えます。</p> <p>※ 工場出荷時は、[CTL3] スイッチを長押しするとマニュアル・モードに切り替わる設定になっています。</p> <p>※ メモリー・モードでも、パッチ呼び出し以外の機能を選ぶことができます。</p>                                                              |
| MANUAL<br>(マニュアル・モード)      | <p>パッチ/システムごとに設定した、ナンバー・スイッチ [1] ~ [5] に割り当てた機能を操作するモードです。</p> <p>マニュアル・モードにすると、PLAY 画面の表示が一部変わります。</p>                                                             |
| PEDALBOARD<br>(ペダルボード・モード) | <p>コンパクト・エフェクターを並べた状態と同じ感覚で使えるモードです。</p> <p>各スイッチがエフェクト・オン/オフの機能になります。</p> <p>ペダルボード・モードでは、パッチ/メモリーの概念は無く、エディットした内容はライト操作をしなくても記憶されます。</p> <p>ペダルボード・モードのプレイ画面</p>  |

## マニュアル・モード時の各スイッチの設定

マニュアル・モード時、ナンバー・スイッチ [1] ~ [5] に割り当てた機能を変更するときは、次の操作をします。

### 1. [MENU] → [CONTROL ASSIGN] → [CONTROL FUNCTION] を選びます。

### 2. PAGE [◀] [▶] ボタンで、最終ページに移動します。

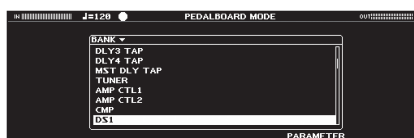
| CONTROL/ASSIGN > CONTROL FUNCTION |         |         |         |         |         |
|-----------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
|                                   | MANUAL1 | MANUAL2 | MANUAL3 | MANUAL4 | MANUAL5 |
| FUNCTION                          | ES1     | EXP1    | ES1     | DLV1    | FX1     |
| MODE                              | TOGGLE  | TOGGLE  | TOGGLE  | TOGGLE  | TOGGLE  |
| PREFERENCE                        | PITCH   | PITCH   | PITCH   | PITCH   | PITCH   |
| SELECT                            | VALUE   | VALUE   | VALUE   | VALUE   | VALUE   |

### 3. [1] ~ [6] つまみで、パラメーターの選択や設定値を変更します。

## ペダルボード・モード時の各スイッチの設定

ペダルボード・モード時、各スイッチの設定を変更するときは、次の操作をします。

### 1. [6] (FUNCTION SELECT) つまみを回して設定を変更するスイッチを選び、つまみを押して決定します。



### 2. [5] (PARAMETER) つまみを回して、設定値を変更します。

※ リア・パネルの CTL4, 5/EXP2 端子や CTL6, 7/EXP3 端子に接続したフットスイッチ/エクスプレッション・ペダルの機能を設定するときは、「フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの設定」(P.13) をご覧ください。

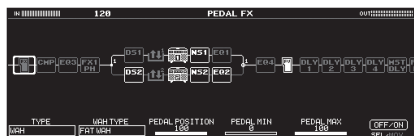
## ベース・ギターで GT-1000 を使う

ベース・ギターを使う場合は、ベース・モードをオンにしてください。

### 1. [EFFECT] ボタンを押します。



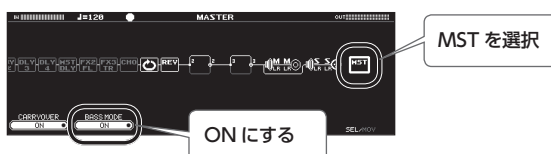
エディット画面 (エフェクト・チェーン) が表示されます。



### 2. [6] (SEL) つまみを回して、「MST」を選びます。

### 3. PAGE [◀] [▶] ボタンで、最終ページに移動します。

### 4. [2] (BASS MODE) つまみを回して、「ON」にします。



# エディット編：エフェクト

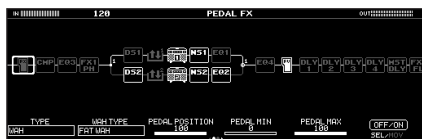
## エフェクト・エディットの基本操作

エディット画面では、GT-1000 に搭載されているすべてのエフェクトや、出力、センド／リターンなどのブロック配列（エフェクト・チェーン）が表示されます。エフェクト・チェーンから、エディットしたいブロックを選んでエディットすることができます。

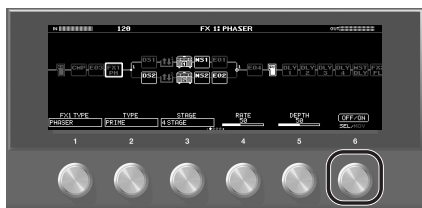
### 1. [EFFECT] ボタンを押します。



エディット画面（エフェクト・チェーン）が表示されます。



### 2. [6] つまみを回して、エディットするブロックを選びます。



選ばれているブロックは太枠で囲まれています。

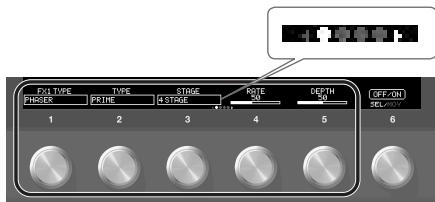


※ [6] つまみを押すと、選ばれているエフェクトのオン／オフを切り替えることができます。オフになっているエフェクトは、グレーで表示されています。オンになると白で表示されます。

オフ オン



### 3. [1] ～ [5] つまみで、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

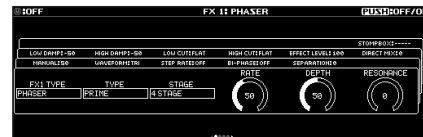


PAGE [◀] [▶] ボタンでエディットするパラメーターを切り替えます。現在のページが画面下部中央に表示されます。

- ※ つまみを押しながら回すと値を大きく変えることができます。
- ※ エフェクトによって、パラメーターの数やページ数が異なります。

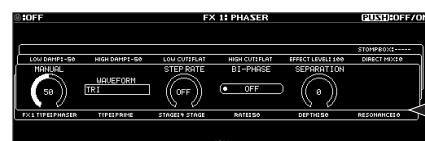
## すべてのパラメーターを確認しながらエディットする

エディット画面から [6] つまみを長押しすると、選んでいるブロックの全パラメーターがリスト表示されます。リストから各パラメーターをエディットすることができます。



### 1. [1] ～ [6] つまみを回して、画面に表示されているパラメーターの値を調節します。

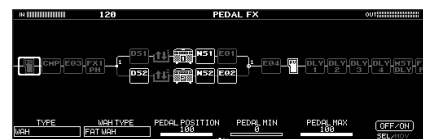
PAGE [◀] [▶] ボタンで、パラメーターのリストを切り替えます。



PAGE [◀] [▶] ボタンで切り替える

## エフェクトの配置

エフェクトや、出力、センド／リターンなどのブロックの配置を移動させることにより、エフェクト順番を入れ替えたり、並列に配置したり、自由自在に配置することができます。



## エフェクト等の配置を変更する

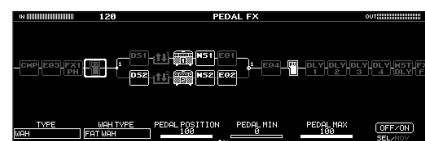
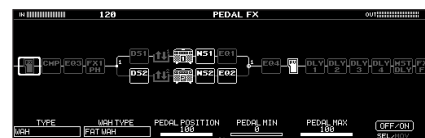
### 1. [EFFECT] ボタンを押します。

エフェクト・チェーンが表示されます。

### 2. [6] つまみで、移動したいブロックを選びます。

### 3. [6] つまみを押しながら左右に回します。

選ばれたブロックが左右に移動します。



## パッチ切り替え時の音切れを防ぐ

GT-1000 には、新方式の高速パッチ切り替えシステムが搭載されており、無音時間の少ない切り替えができます。パッチごとに自動で最速の切り替えをしており、音切れのない切り替えも可能です。

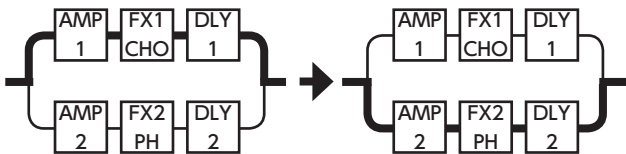
### 音切れを防ぐヒント

切り替え前後のパッチを以下のように作成すると、音切れを防ぐことができます。

- ・ チェインで、ブロック位置の変化が起きないようにする。
- ・ 複数ブロックを使用して、エフェクトを配置する (同じブロックで TYPE を変更しない)。
- ・ 並列処理を使用してチャンネルを切り替える。

#### 例：

コーラスと、深めのディレイを使ったクリーン・サウンドから、フェイザーと、浅めのディレイを使ったクランチ・サウンドを使ったクランチ・サウンドに切り替える。

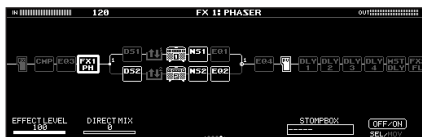


切り替え前と切り替え後の両方のパッチで、同じチェーンを使用します。切り替え前に使うエフェクトのセッティングと、切り替え後に使うエフェクトのセッティングを並列に配置します。

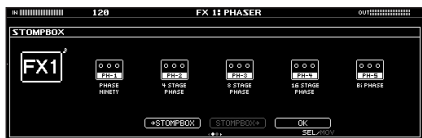
## STOMPBOX を使う

各エフェクトのお気に入りのセッティングを「STOMPBOX」として保存しておくことができます。コンパクト・ペダルを並べる感覚で選んで音作りができます。STOMPBOX のデータは、全パッチで共通になっており、同じ STOMPBOX を使用している全パッチを一括でエディットすることができます。

1. [EFFECT] ボタンを押します。
2. [6] つまみで、エディットするエフェクトを選びます。
3. PAGE [◀] [▶] ボタンで、最終ページに移動します。



4. [5] つまみを押します。  
STOMPBOX 選択ウィンドウが表示されます。



5. [5] つまみを回して、STOMPBOX のタイプを選びます。
6. [5] つまみを押します。

## STOMPBOX を編集する

1. [1] ~ [5] つまみを回して、画面に表示されているパラメーターの値を調節します。  
PAGE [◀] [▶] ボタンでパラメーターのリストを切り替えます。

## STOMPBOX の設定をパッチに読み出す

1. [EFFECT] ボタンを押します。
2. [6] つまみで、エディットするエフェクトを選びます。
3. PAGE [◀] [▶] ボタンで、最終ページに移動します。
4. [5] つまみを押します。  
STOMPBOX 選択ウィンドウが表示されます。
5. [5] つまみを回して、STOMPBOX のタイプを選びます。
6. [4] つまみを押します。  
STOMPBOX の内容がパッチに呼び出されます。  
STOMPBOX の内容を変更することなく、パッチのエディットができます。

## パッチの設定を STOMPBOX に書き込む

1. [EFFECT] ボタンを押します。
2. [6] つまみで、保存するエフェクトを選びます。
3. PAGE [◀] [▶] ボタンで、最終ページに移動します。
4. [5] つまみを押します。  
STOMPBOX 選択ウィンドウが表示されます。
5. [3] つまみを押します。
6. [1] つまみを回して書き込む STOMPBOX を選びます。
7. [3] ~ [6] つまみで、名前を入力します。

#### 参照

名前の付けかたについて、詳しくは「名前を付けるには?」(P.9) をご覧ください。

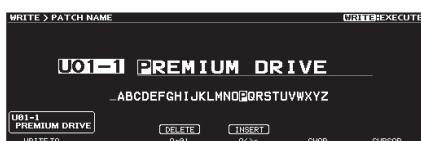
## パッチの保存

作ったパッチを保存したい場合は、以下の手順でユーザー・パッチに保存してください。パッチを保存しないと、電源を切ったり、パッチを切り替えたりしたときにエディットした内容が失われます。

### 1. [WRITE] ボタンを押します。



### 2. [1] つまみを押して [WRITE] (PATCH WRITE) を選びます。



### 3. [1] つまみで、保存先 (U01-1 ~ U50-5) を選びます。

[3] ~ [6] つまみで、名前を変更することができます。

## 名前を付けるには？

[6] つまみでカーソルを移動して、[5] つまみで文字を変更することで、パッチ名を変更することができます。

| 操作子        | 動作            |
|------------|---------------|
| [3] つまみを回す | 文字種選択         |
| [3] つまみを押す | 一文字削除 (デリート)  |
| [4] つまみを回す | 小文字・大文字       |
| [4] つまみを押す | 一文字挿入 (インサート) |
| [5] つまみを回す | 文字の変更         |
| [6] つまみを回す | カーソルの移動       |

### 4. もう一度 [WRITE] ボタンを押します。

パッチが書き込まれます。

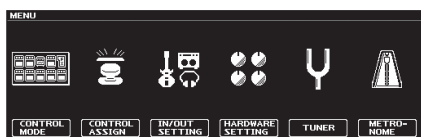
## エディット編: MENU

### MENU の基本操作

GT-1000 全体で共通の設定 (システム・パラメーター) をします。

各パラメーターについて、詳しくは『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

### 1. [MENU] ボタンを押します。



※ PAGE [◀] [▶] ボタンで、さらに項目を表示することができます。

### 2. [1] ~ [6] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

サブメニューが表示されます。



### 3. さらに [1] ~ [6] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

### 4. [1] ~ [6] つまみで、パラメーターの選択や設定値を変更します。

※ パラメーターの選択方法や、設定値の変更方法は、項目ごとに異なります。詳しくは『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

### [1] ~ [6] つまみに好みのパラメーターを割り当てる

プレイ画面 (P.5) が表示されているときに、[1] ~ [6] つまみで操作するパラメーターを割り当てます。

### 1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [KNOB] を選びます。



### 2. [1] ~ [6] つまみで、各つまみに割り当てるパラメーターを設定します。



### 3. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する

ディスプレイの明るさを調節することができます。

- 1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [OTHER] を選びます。
- 2. [2] つまみで、コントラストを調節します。

工場出荷時の設定に戻す  
(ファクトリー・リセット)

GT-1000 の設定を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

※「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは専用ソフトウェアでパソコンなどに保存してください。

- 1. [MENU] → [FACTORY RESET] を選びます。
- 2. [1]、[6] つまみで、ファクトリー・リセットの範囲を指定します。

| つまみ        | パラメーター     | 設定値           | 説明                           |
|------------|------------|---------------|------------------------------|
| [1]<br>[6] | FROM<br>TO | SYSTEM        | システム・パラメーターの設定内容             |
|            |            | U01-1 ~ U50-5 | パッチ・ナンバー U01-1 ~ U50-5 の設定内容 |
|            |            | STOMPBOX      | STOMPBOX の設定内容               |
|            |            | PEDALBOARD    | ペダルボード・モードの設定内容              |

- 3. [WRITE] ボタンを押します。
- ファクトリー・リセットを実行するときは、[6] ボタンを押します。  
ファクトリー・リセットをやめるときは、[5] ボタンを押します。  
ファクトリー・リセットが終了すると、プレイ画面に戻ります。

メトロノームを使う

- 1. [MENU] → [METRONOME] を選びます。
- [METRONOME] はメニューの 1 ページ目にあります。  
PAGE [◀] [▶] ボタンで 1 ページ目を表示させます。

メトロノーム表示



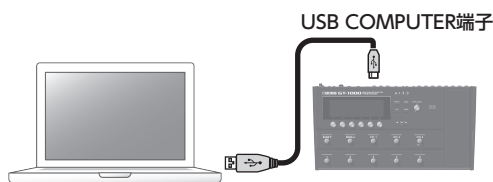
メトロノームの設定

ディスプレイ下の [1] ~ [6] つまみでメトロノームの設定をします。

| パラメーター           | 設定値                                     | 説明                                                |
|------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------|
| [1] EFFECT TEMPO | --                                      | [1] つまみを押すと、メトロノームの BPM をマスター BPM の値に合わせることができます。 |
| [2] BPM          | 20 ~ 250                                | テンポを設定します。                                        |
| [3] BEAT         | 1/1 ~ 8/1、1/2 ~ 8/2、1/4 ~ 8/4、1/8 ~ 8/8 | 拍子を設定します。                                         |
| [5] OFF/ON       | OFF、ON                                  | メトロノームをオン／オフします。                                  |
| [6] LEVEL        | 0 ~ 100                                 | メトロノームの音量を設定します。                                  |

# パソコンに接続する

GT-1000 を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができます。



- パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信
- 専用ソフトウェアを使って、パソコン上でパッチの編集や管理、『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) の表示
- 専用 Web サイト BOSS TONE CENTRAL からパッチをダウンロード  
→ <http://bosstonecentral.com/>

## USB ドライバーのインストール

パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。

USB 接続をする前に、専用ドライバーをインストールしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

ドライバーは、ご使用の環境によってインストールするプログラムや手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をよく読んでうえでお使いください。

# 外部 MIDI 機器を接続する

GT-1000 では、MIDI を使って次の操作をすることができます。

## GT-1000 からの操作

| 操作               | 説明                                                                                                                                   |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| プログラム・チェンジ情報の出力  | GT-1000 でパッチを選ぶと同時に、PATCH MIDI で設定したプログラム・チェンジ情報が送信されます。外部 MIDI 機器は受信したプログラム・チェンジ情報に対応したセッティングに切り替わります。                              |
| コントロール・チェンジ情報の出力 | 【CTL1】～【CTL3】スイッチや、CTL 4, 5/EXP2、CTL 5, 6/EXP3 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダルの操作情報をコントロール・チェンジ情報として出力します。外部 MIDI 機器のパラメーター操作などに利用できます。 |

## 外部 MIDI 機器からの操作

| 操作               | 説明                                                      |
|------------------|---------------------------------------------------------|
| パッチ・ナンバーの切り替え    | 外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報に対応して、GT-1000 のパッチが同時に切り替わります。 |
| コントロール・チェンジ情報の受信 | コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。      |
| データの受信           | 他の GT-1000 から送信されたデータや、MIDI シーケンサーに保存したデータを受信します。       |

## オーディオ・インターフェースとして使う

GT-1000 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を GT-1000 の OUTPUT 端子から出力したりすることができます。

- ※ USB 接続時のオーディオ信号の流れと設定方法について、詳しくは『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。
- ※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

## GT-1000 専用ソフトウェアを使う

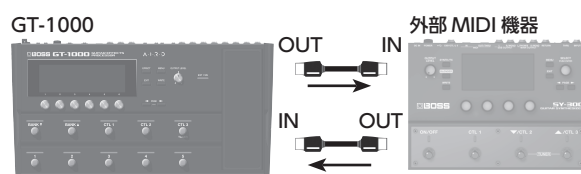
専用ソフトウェアは、ボスのホームページからダウンロードしてください。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- ダウンロード・サイト、BOSS TONE CENTRAL から、パッチを簡単に本体にダウンロードできます。
- パッチの設定を編集できます。
- パッチにパッチ名を付けることができます。
- パッチの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- パッチと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定に戻したりすることができます。
- 『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) を表示することができます。

## 接続例



## 設定方法

1. [MENU] → [MIDI] を選びます。
2. パラメーターつまみで、各パラメーターの値を設定します。

MIDI について、詳しくは『GT-1000 パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

## こんなことができます

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下、「**モバイル機器**」と呼びます）と本機が無線でつながり、以下のことができます。

- BOSS TONE STUDIO アプリを使って、音色をエディットしたり、音色ライブラリーの編集をしたりすることができます。

BOSS TONE STUDIO の詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/>

## アプリと接続する

以下の操作説明は一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. GT-1000 本体とモバイル機器の電源を入れます。
2. モバイル機器の設定で、Bluetooth を ON にします。



### 注意

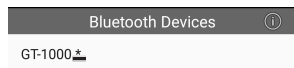
「接続可能デバイス」リストに「GT-1000」が表示されても、タップしないでください。

3. モバイル機器にインストールしたアプリ「**BOSS TONE STUDIO for GT-1000**」を起動します。
4. 画面に表示された「Bluetooth MIDI DEVICE」をタップし、「GT-1000」をタップします。



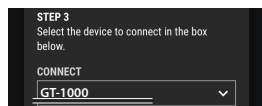
※ Bluetooth ID を変更した場合（P.12）は、「GT-1000」のあとに変更した番号が表示されます。

GT-1000 の右上に「\*」が表示されることを確認します。



※ 「GT-1000」が表示されないときは、Bluetooth Devices 画面一番下に表示されている「SCAN」をタップして、検索し直してください。

5. Android の戻るボタンをタップし、1 つ前の画面に戻ります。
6. 「CONNECT」に「GT-1000」と表示されていることを確認します。



7. 「OK」をタップして、通信を開始します。

### GT-1000 を複数台お持ちのとき

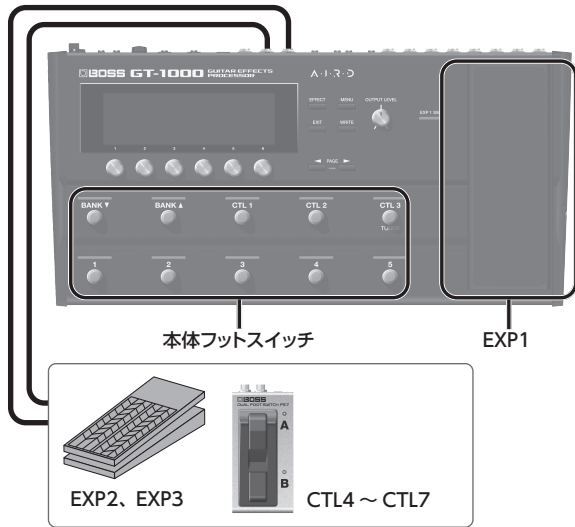
Bluetooth ID というパラメーターを「OFF」以外にすると、GT-1000 のデバイス名の末尾に数字が付きます。これで複数の GT-1000 を識別することができます。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [OTHER] を選びます。
2. [6] つまみを回して、ID を設定します。

| 設定値     | 例                  |
|---------|--------------------|
| OFF、1～9 | OFF（初期値） [GT-1000] |
|         | 1 [GT-1000 1]      |

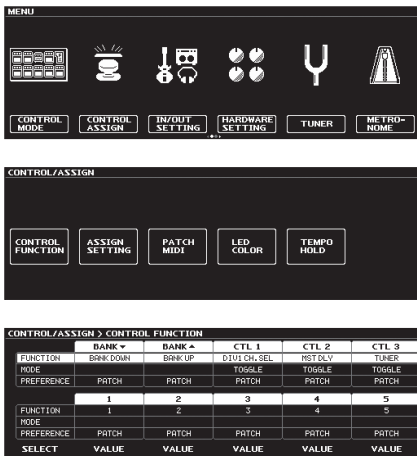
# フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの設定

トップ・パネルにあるすべてのフットスイッチと、エクスプレッション・ペダル (EXP1)、リア・パネルの CTL4, 5/EXP2 端子と CTL6, 7/EXP3 端子に接続するエクスプレッション・ペダルやフットスイッチ (P.15) には、さまざまな機能を割り当てることができます。



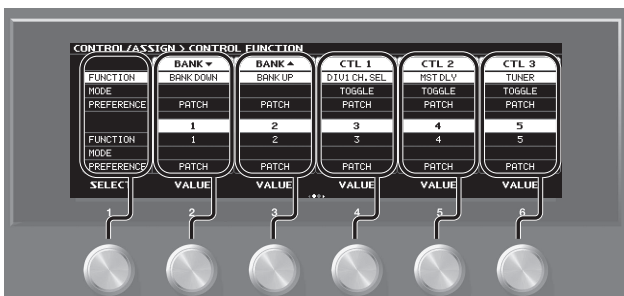
## 機能を設定する

### 1. [MENU] → [CONTROL ASSIGN] → [CONTROL FUNCTION] を選びます。



### 2. [1] つまみを回して、設定項目を選びます。

選択項目が縦に移動します。



選んだ項目の設定が変更可能になります。

### 3. [2] ~ [6] つまみを回して、各スイッチの選択項目の設定値を変更します。

※ フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの機能は、パッチごとに設定する必要がありますが、PREFERENCE を SYSTEM に設定すると、すべてのパッチで共通の機能として使うことができます。

## エフェクト・エディット画面からアサインを設定する (クイック・アサイン)

エフェクトのエディット画面 (P.7) で、エフェクトのパラメーターを選んで、パラメーターを好みのスイッチにアサインすることができます。

1. [EFFECT] ボタンを押します。
2. [6] つまみを回して、エディットするブロックを選びます。
3. アサインを設定したいパラメーターに対応する [1] ~ [5] つまみを長押しします。



アサイン・マトリックス・セッティング画面が表示されます。

| CONTROL/ASSIGN > ASSIGN MATRIX |    | TARGET        |     |     | SOURCE |        |
|--------------------------------|----|---------------|-----|-----|--------|--------|
| NUM                            | SW | TARGET        | MIN | MAX | SOURCE | MODE   |
| 1                              | 1  | DIST 1 DRIVE  | 0   | 120 | CTL1   | TOGGLE |
| 2                              | 2  | DIST 1 ON-OFF | OFF | ON  | CTL1   | TOGGLE |
| 3                              | 3  | DIST 1 ON-OFF | OFF | ON  | CTL1   | TOGGLE |
| 4                              | 4  | DIST 1 ON-OFF | OFF | ON  | CTL1   | TOGGLE |
| 5                              | 5  | DIST 1 ON-OFF | OFF | ON  | CTL1   | TOGGLE |
| 6                              | 6  | DIST 1 ON-OFF | OFF | ON  | CTL1   | TOGGLE |

※ アサイン・マトリックス・セッティング画面は、パラメーター全体のリスト画面 (P.7) からでも同様の手順で表示されます。また、[MENU] → [CONTROL ASSIGN] → [ASSIGN SETTING] を選んでも表示されます。

### 4. [1] つまみを押し、SW を ON にします。

### 5. [2] ~ [6] つまみを回して、パラメーターを設定します。

必要に応じて PAGE [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

SOURCE で、操作するペダルや MIDI メッセージなどを設定します。

### エクスプレッション・ペダルを調節する (ペダル・キャリブレーション)

本機のエクスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズレる場合があります。

「ボリューム・ペダルで音が完全に消えない」「EXP PEDAL SW が効かない」などの症状が現れたときは、以下の手順で再調整することができます。

#### 1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [CALIBRATION] を選びます。

PEDAL CALIBRATION 画面が表示されます。



#### 2. ペダルのかかと部分を踏んで [WRITE] ボタンを押 します。

[OK] と表示され、その後、次のような画面が表示されます。



#### 3. ペダルのつま先部分を踏んで [WRITE] ボタンを押 します。

[OK] と表示され、その後、次のような画面が表示されます。



#### 4. ペダルのつま先部分を強く踏み込みます。

踏んだときに PEDAL FX インジケーターが点灯することを確認します。

※ PEDAL FX インジケーターの点灯感度を変更したいときは、[6] つまみで THRESHOLD の値を調整しながら、手順 4 を繰り返して確認します。

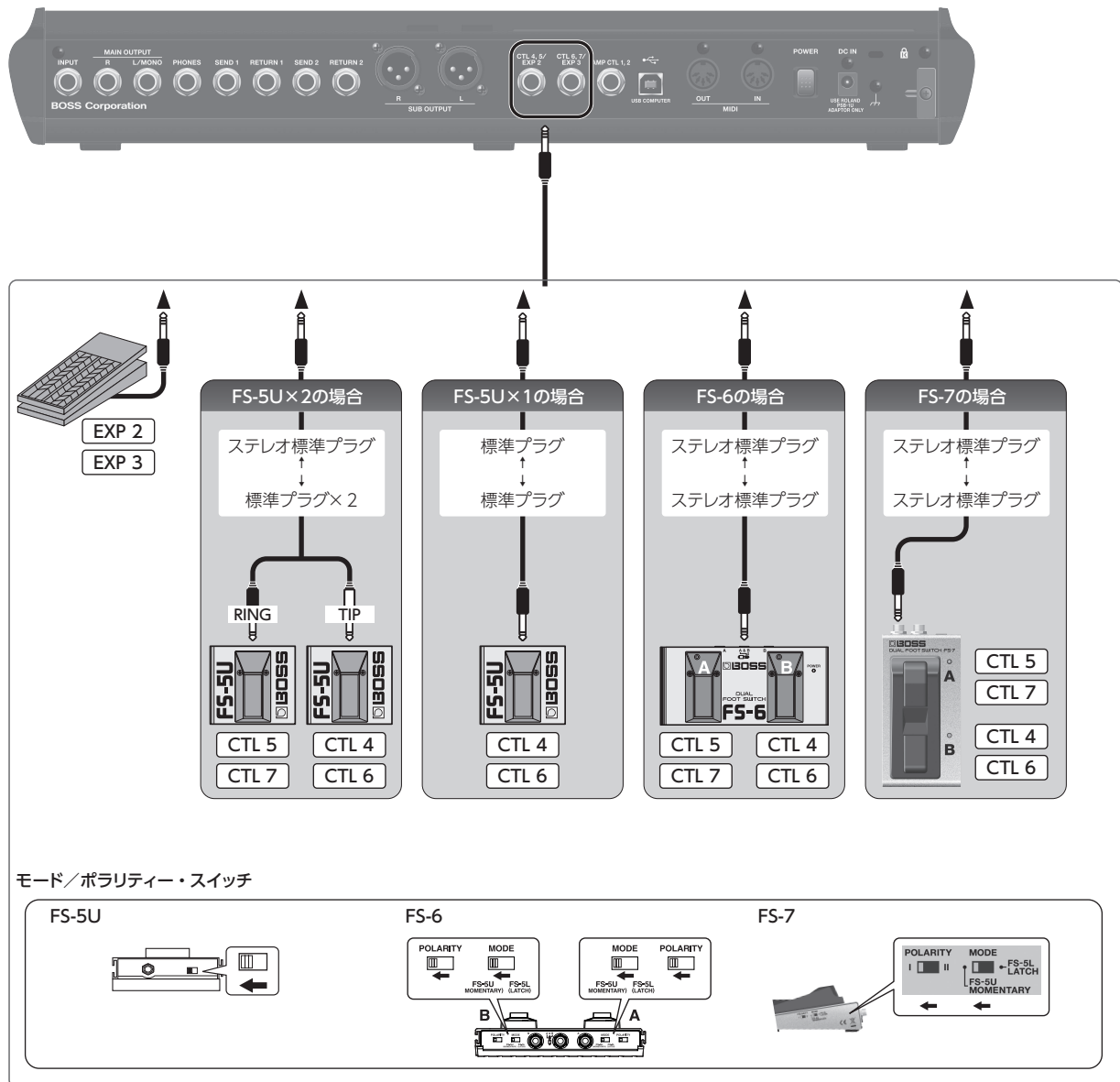
#### 5. [WRITE] ボタンを押します。

[COMPLETED!] と表示されます。



※ エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

## 外部ペダルの接続について



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

# ルーパー

最大 38 秒まで（モノ）の演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。繰り返し再生に合わせて、別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。

録音した内容をバックに演奏することができます。

## ルーパー機能をスイッチにアサインする

ルーパーを使うためには、あらかじめルーパーの録音、再生、オーバー・ダビング機能をお好みのスイッチにアサインしておく必要があります。ここでは、本体の【CTL1】～【CTL3】スイッチを使って、ルーパーを操作する例を紹介します。

1. ルーパーを使いたいパッチを選びます。
2. [MENU] → [CONTROL ASSIGN] → [CONTROL FUNCTION] を選びます。

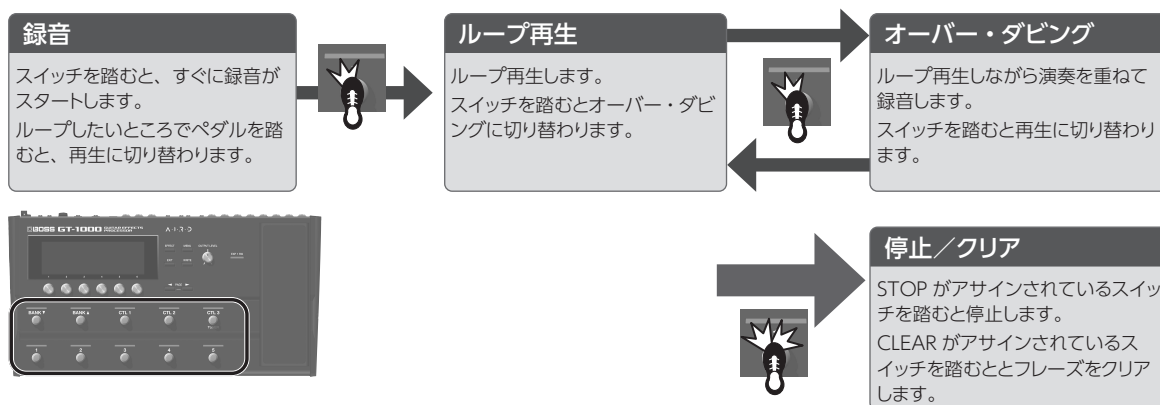
## 3. 「CTL 1」～「CTL 3」の FUNCTION を以下のとおり設定します。

| CONTROL/ASSIGN > CONTROL FUNCTION |           |         |        |             |              |
|-----------------------------------|-----------|---------|--------|-------------|--------------|
| FUNCTION                          | BANK ▼    | BANK ▲  | CTL 1  | CTL 2       | CTL 3        |
| MODE                              | BANK DOWN | BANK UP | LOOPER | LOOPER STOP | LOOPER CLEAR |
| PREFERENCE                        | PATCH     | PATCH   | PATCH  | PATCH       | PATCH        |
|                                   | 1         | 2       | 3      | 4           | 5            |
| FUNCTION                          | 1         | 2       | 3      | 4           | 5            |
| MODE                              | PATCH     | PATCH   | PATCH  | PATCH       | PATCH        |
| PREFERENCE                        | PATCH     | PATCH   | PATCH  | PATCH       | PATCH        |
| SELECT                            | VALUE     | VALUE   | VALUE  | VALUE       | VALUE        |

| パラメーター | 設定           | 説明                                 |
|--------|--------------|------------------------------------|
| CTL 1  | LOOPER       | 録音を開始します。押すごとに再生、オーバー・ダビングを繰り返します。 |
| CTL 2  | LOOPER STOP  | 録音、再生を停止します。                       |
| CTL 3  | LOOPER CLEAR | 録音を消去します。                          |

### メモ

- 工場出荷時に、プリセット・パッチ P50-1 ～ P50-5、ユーザー・パッチ U50-1 ～ U50-5 は上記のとおり設定されています。
- LOOPER がアサインされている、【CTL1】スイッチのみでも停止、消去をすることができます。スイッチを 2 回踏むと停止します。スイッチを 2 秒以上踏むとフレーズをクリアします。



## ループ再生レベルの設定

再生レベルを 100（初期値）に設定すると、演奏している音量とループ再生の音量が同じになります。

再生レベルを 100 よりも小さい値に設定すると、演奏している音量よりも小さな音量で再生されます。これにより、録音を重ねていたときに、ループ再生音によって演奏している音が埋もれるのを防ぐことができます。

1. [EFFECT] ボタンを押します。
2. [6] つまみを回して、LOOPER を選びます。
3. [1] つまみを回して、「PLAY LEVEL」の値を設定します。

## スイッチの色

| 色     | 状態         |
|-------|------------|
| 赤     | 録音         |
| オレンジ  | オーバーダビング   |
| 緑     | 再生         |
| 緑(点滅) | 停止（フレーズあり） |
| 青     | 停止（フレーズなし） |

### メモ

- 録音時間は最大 38 秒（モノ）です。ステレオ・モードでは最大 19 秒です。
- 録音した内容は、ルーパーを OFF にしたり、電源を切ったりすると失われます。

# 主な仕様

## BOSS GT-1000 : ギター・エフェクト・プロセッサー

|           |                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| サンプリング周波数 | 96kHz                                                                                                                |
| AD 変換     | 32 ビット+ AF 方式<br>AF 方式 (Adaptive Focus method) は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。                           |
| DA 変換     | 32 ビット                                                                                                               |
| メモリー      | 250 (ユーザー) + 250 (プリセット)                                                                                             |
| フレーズ・ループ  | 38 秒 (モノ)<br>19 秒 (ステレオ)                                                                                             |
| 規定入力レベル   | INPUT : -10dBu<br>RETURN1 : -10dBu<br>RETURN2 : -10dBu                                                               |
| 最大入力レベル   | INPUT : +18dBu<br>RETURN1 : +8dBu<br>RETURN2 : +8dBu                                                                 |
| 入力インピーダンス | INPUT : 1MΩ<br>RETURN1 : 1MΩ<br>RETURN2 : 1MΩ                                                                        |
| 規定出力レベル   | MAIN OUTPUT (L/MONO, R) : -10dBu<br>SUB OUTPUT (L, R) : +4dBu<br>PHONES : -10dBu<br>SEND1 : -10dBu<br>SEND2 : -10dBu |
| 出力インピーダンス | MAIN OUTPUT (L/MONO, R) : 1kΩ<br>SUB OUTPUT (L, R) : 600Ω<br>PHONES : 20Ω<br>SEND1 : 1kΩ<br>SEND2 : 1kΩ              |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 推奨負荷インピーダンス                 | MAIN OUTPUT (L/MONO, R) : 10kΩ以上<br>SUB OUTPUT (L, R) : 600kΩ以上<br>PHONES : 44Ω以上<br>SEND1 : 10kΩ以上<br>SEND2 : 10kΩ以上                                                                                                                                                                   |
| ディスプレイ                      | グラフィック LCD (512 × 160 ドット、バックライト付き)                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 接続端子                        | INPUT 端子 : 標準タイプ<br>MAIN OUTPUT (L/MONO, R) 端子、SEND1 端子、RETURN1 端子、SEND2 端子、RETURN2 端子 : 標準タイプ<br>SUB OUTPUT (L, R) 端子 : XLR タイプ<br>PHONES 端子 : ステレオ標準タイプ<br>CTL4, 5/EXP2 端子、CTL6, 7/EXP3 端子、AMP CTL1, 2 端子 : TRS 標準タイプ<br>USB COMPUTER 端子 : USB B タイプ<br>DC IN 端子<br>MIDI (IN, OUT) 端子 |
| 電源                          | AC アダプター                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 消費電流                        | 1.2A                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| オフ・モード (自動的に電源が切れたとき) の消費電力 | 0.0W                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 外形寸法                        | 462 (幅) × 248 (奥行) × 70 (高さ) mm<br>ペダル傾き最大時: 462 (幅) × 248 (奥行) × 95 (高さ) mm                                                                                                                                                                                                            |
| 質量                          | 3.6kg                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 付属品                         | AC アダプター、取扱説明書、 <b>【安全上のご注意】</b> チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード                                                                                                                                                                                                                                |
| 別売品                         | フットスイッチ : FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7、エクスプレッション・ペダル : EV-30、FV-500L / 500H、Roland EV-5                                                                                                                                                                                                        |

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

## 安全上のご注意

### ⚠ 警告

#### AUTO OFF 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (AUTO OFF 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください (P.3)。



#### 付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



#### 付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



### ⚠ 注意

#### 指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。

・エクスプレッション・ペダル (P.13)



#### 接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

# 使用上のご注意

## 設置について

- ・設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

## 修理について

- ・修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご相談ください。

## 接地端子について

- ・接地端子をお使いの場合は、外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム（うなり）が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときは当社サポート窓口にご相談ください。
- ・接続してはいけないところ
  - ・水道管（感電の原因になります）
  - ・ガス管（爆発や引火の原因になります）
  - ・電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です）

## その他の注意について

- ・記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・エクスペリション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

## 電波に関する注意

- ・以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本製品を分解／改造する
  - ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
- ・本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）について当社サポート窓口にご相談ください。
  - ・その他、発生した問題についてお困りの場合も、当社サポート窓口にご相談ください。
    - ※ 当社サポート窓口への連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- ・認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

## 知的財産権について

- ・第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- ・本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき  $\mu$  T-Kernel ソースコードを利用しています。
- ・文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。